

第 26 回腸内細菌学会学術集会 プログラム

1 日目 7 月 7 日 (木)

総合同会：梅崎良則 (腸内細菌学会)

9:55 ~ 10:00 開会の辞 岡田信彦 (大会長・北里大学)

小ホール 一般演題 A 1 ~ 16 (10:00 ~ 12:06) 各 7 分 (口演 5 分, 質疑 2 分)

座長 冠木敏秀 (雪印メグミルク(株)), 平山和宏 (東京大学)

- 10:00 ~ 10:07 **A-1. ヒト細菌叢解析の妥当性評価のために開発した mock community (微生物カクテル) の品質について**
 Quality of the mock community developed for validation of human microbiome analysis
 ○三浦隆匡¹, 成田興司², Dieter M Tourlousse³, 大山良文¹, 島村麻美子¹, 古川雅崇¹, 坂本光央⁴, 大熊盛也⁴, 亀山恵司², 久田貴義², 笠原 堅², 関口勇地³, 寺内 淳², 川崎浩子¹
¹製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター,
²日本マイクロバイオームコンソーシアム, ³産業技術総合研究所バイオメディカル研究部門,
⁴理化学研究所バイオリソース研究センター
- 10:07 ~ 10:14 **A-2. 腸球菌 V-ATPase 阻害剤はウェルシュ菌の増殖を pH 依存的に阻害する**
 Enterococcal V-ATPase inhibitor inhibits the growth of *Clostridium perfringens* in a pH-dependent manner
 ○阿部晶平¹, 清水康輝¹, 金沢達志¹, 宮城侑弥², 清木一生¹, 森山克彦¹, 宮田 茂², 村田武士¹
¹千葉大学大学院理学研究院, ²中部大学応用生物学研究科
- 10:14 ~ 10:21 **A-3. 各種病原性細菌の増殖阻害能における *Lactiplantibacillus plantarum* TO-A の評価**
 Characterization of *Lactiplantibacillus plantarum* TO-A growth inhibition activity against pathogenic bacteria
 ○齋藤隆一, 佐藤直樹, 王 殿升
 東亜薬品工業株式会社 研究本部
- 10:21 ~ 10:28 **A-4. 腸管上皮細胞と嫌気性腸内細菌の新規共培養システムの開発**
 Novel co-culture system of intestinal epithelial cells and anaerobic gut microbes
 ○米田恭子¹, 高橋実花子¹, 藤山陽一¹, 片山高嶺², 後藤愛那², 加藤紀彦², 長谷耕二³, 金 倫基⁴, 橋本豊之¹
¹株式会社島津製作所基盤技術研究所, ²京都大学大学院生命科学研究科,
³慶應義塾大学薬学部, ⁴慶應義塾大学薬学部創薬研究センター
- 10:28 ~ 10:35 **A-5. フロー型アピカル嫌気共培養装置を用いた偏性嫌気性腸内細菌と単層化 Caco-2 細胞の相互作用解析**
 A plug flow, apical anaerobic co-cultivation device to monitor the crosstalk between obligately anaerobic gut microbes and Caco-2 monolayer
 ○坂本佳純¹, 後藤愛那¹, 加藤紀彦¹, 米田恭子², 橋本豊之², 藤山陽一², 田川陽一³, 金 倫基⁴, 長谷耕二⁵, 片山高嶺¹

- ¹ 京都大学大学院生命科学研究所, ² 株式会社島津製作所基盤技術研究所,
³ 東京工業大学生命理工学院, ⁴ 慶應義塾大学薬学部創薬研究センター, ⁵ 慶應義塾大学薬学部
- 10:35 ~ 10:42 **A-6. 母体腸内細菌叢が胎子の成長に及ぼす影響**
 Effects of maternal gut microbiota on fetal development
 ○杉山ひなた¹, 大橋若奈¹, 白鳥弘明², 長谷耕二^{1,2}
¹ 慶應義塾大学薬学部 生化学講座, ² 慶應義塾大学大学院薬学研究科
- 10:42 ~ 10:49 **A-7. 絶食 - 再摂食が腸上皮細胞および腸内細菌叢に与える影響**
 Fasting-refeeding affects the intestinal epithelium and gut microbial composition
 ○白鳥弘明^{1,2}, 永井基慈^{2,1}, 中田一彰², 兼子友里朱^{1,2}, 大川拓真^{1,2}, 土肥多恵子¹,
 河村由紀², 長谷耕二¹
¹ 慶應義塾大学大学院薬学研究科, ² 国立国際医療研究センター研究所 消化器疾患研究部
- 10:49 ~ 10:56 **A-8. 幼若期の社会的隔離ストレスは腸内細菌叢を変容させ、行動異常を誘発する**
 Social isolation during adolescence induces behavioral impairments associated with
 abnormalities of gut microbiota composition
 ○國澤和生¹, 田辺萌夏¹, 齋藤いまり¹, 小菅愛加¹, 河合智貴¹, 窪田悠力¹, 齋藤邦明^{2,4},
 鍋島俊隆^{3,4}, 毛利彰宏^{1,4}
¹ 藤田医科大学大学院保健学研究科 レギュラトリーサイエンス分野,
² 藤田医科大学大学院保健学研究科 先進診断システム開発分野,
³ 藤田医科大学大学院保健学研究科 先進診断システム探索部門,
⁴ NPO 法人医薬品適正使用推進機構
- 10:56 ~ 11:10 休憩
- 座長 八村敏志 (東京大学), 細野 朗 (日本大学)
- 11:10 ~ 11:17 **A-9. 漢方薬のレスポナー・ノンレスポナーを制御する腸内細菌叢の解析**
 Study of relationship between responders and non-responders to action of Kampo
 medicines via gut microbiota
 ○高山健人^{1,2}, 石川風花¹, 生田淳志¹, 矢作綾野², 井関將典², 高原千穂¹, 石原克彦²,
 井上裕文³
¹ 福山大学薬学部漢方薬物解析学研究室, ² 川崎医科大学免疫学教室,
³ 福山大学薬学部臨床分析科学研究室
- 11:17 ~ 11:24 **A-10. 生後3.5年間の腸内細菌叢の変遷：胎児期に始まる子どもの健康と発達に関する調査 (C-MACH)**
 Changes in the intestinal microbiota of infants during the first 3.5 years of life: Chiba
 study of Mother and Child Health
 ○鶴岡裕太¹, 櫻井健一², 渡邊応宏³, 加藤 完⁴, 大野博司⁴, 森 千里^{3,5}
¹ 千葉大学大学院医学薬学府先進予防医学共同専攻栄養代謝医学分野,
² 千葉大学予防医学センター栄養代謝医学分野,
³ 千葉大学予防医学センター環境健康学分野,
⁴ 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センター,
⁵ 千葉大学大学院医学研究院環境生命医学

- 11 : 24 ~ 11 : 31 **A-11. 糞便中胆汁酸組成と, 食事, 排便状況および腸内細菌叢との関係性**
 Association of habitual diet, defecation status, and intestinal microbiota with fecal bile acid composition
 ○齋藤瑛介¹, 寒河江豊昭²
¹ 広島国際大学健康科学部医療栄養学科,
² 山形県立米沢栄養大学健康栄養学部健康栄養学科
- 11 : 31 ~ 11 : 38 **A-12. 腸内環境は日常の食事変動に安定だが個人ごとに代謝反応が異なる**
 Ecologically robust gut environment shows personalized metabolic responses
 ○石井千晴^{1,2}, 鈴木みゆき³, 副島義臣⁴, 加藤守匡⁵, 富田 勝^{1,2,6}, 福田真嗣^{1,2,7-9}
¹ 慶應義塾大学先端生命科学研究所, ² 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科,
³ 下北沢病院, ⁴ ロート製薬株式会社, ⁵ 山形県立米沢栄養大学健康栄養学部,
⁶ 慶應義塾大学環境情報学部, ⁷ 筑波大学トランスボーダー医学研究センター,
⁸ 神奈川県立産業技術総合研究所, ⁹ 株式会社メタジェン
- 11 : 38 ~ 11 : 45 **A-13. 一般男性における骨密度と腸内細菌叢の関係についての検討**
 Association of bone density with gut microbiota in Japanese men
 ○佐藤 諭¹, 飯野 勢¹, 珍田大輔², 櫻庭裕丈¹, 福田眞作¹
¹ 弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座,
² 弘前大学医学部附属病院光学医療診療部
- 11 : 45 ~ 11 : 52 **A-14. 高齢者における Paneth 細胞 α -defensin 分泌量の低さは加齢に伴う腸内細菌叢の遷移に関連する**
 Lower secretory level of Paneth cell α -defensin in elderly people is related to aging-associated transition of the intestinal microbiota
 ○清水由宇¹, 中村公則¹, 菊池摩仁¹, 鶴川重和², 中村幸志³, 岡田恵美子⁴, 今江章宏⁵, 中川貴史⁶, 山村凌大⁷, 玉腰暁子⁸, 綾部時芳¹
¹ 北海道大学大学院先端生命科学研究院, ² 大阪公立大学大学院生活科学研究科,
³ 琉球大学大学院医学研究科, ⁴ 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所,
⁵ 寿都町立寿都診療所, ⁶ 北海道家庭医療学センター,
⁷ 北海道大学遺伝子病制御研究所, ⁸ 北海道大学大学院医学研究院
- 11 : 52 ~ 11 : 59 **A-15. 肝性脳症発症に関わる腸内細菌の同定**
 Identification of gut microbial species responsible for hepatic encephalopathy
 ○神谷知憲¹, 武藤芳美¹, 藤井英樹¹, 森 宙史², 豊田 敦², 福田真嗣³, 河田則文¹, 大谷直子¹
¹ 大阪市立大学大学院医学研究科, ² 国立遺伝学研究所先端ゲノミクス推進センター
³ 慶應義塾大学先端生命科学研究所
- 11 : 59 ~ 12 : 06 **A-16. 統合失調症患者に対するプロバイオティクスの治療効果に腸内細菌の機能遺伝子プロフィールが及ぼす影響**
 Effects of the functional profiles of the human gut microbiota on the efficiency of probiotic therapy for schizophrenia
 ○山村凌大¹, 大久保亮², 勝又紀子³, 小田巻俊孝³, 清水金忠³
¹ 北海道大学遺伝子病制御研究所 がん制御学分野,
² 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター,
³ 森永乳業株式会社 研究本部基礎研究所

大ホール 一般演題 B 1～12 (10:00～12:24): 各 12 分 (口演 10 分, 質疑 2 分)

座長 利光孝之 ((株)明治), 大崎敬子 (杏林大学)

- 10:00～10:12 **B-1. γ -ポリグルタミン酸高含有納豆が高脂肪食摂取マウスの糖質・脂質代謝関連指標や腸内菌叢に及ぼす影響**
 Effect of Natto containing high γ -polyglutamic acid on carbohydrate and lipid metabolism and intestinal microbiota in high-fat-fed mice
 ○田村 基¹, 渡辺 純^{1,2}, 宮本明子¹, 野口友嗣³, 西川宗伸⁴, 池澤将也⁴
¹ 国立研究開発法人 農研機構食品研究部門, ² 帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門,
³ 茨城県産業技術イノベーションセンター, ⁴ タカノフーズ株式会社
- 10:12～10:24 **B-2. 新規開発手法 “BarBIQ” が明らかにしたマウス腸内細菌叢へのビタミン A 欠乏の影響**
 Influence of vitamin A deficiency on the mouse gut microbiota revealed by our newly developed method, “BarBIQ”
 ○山本れいこ¹, Jianshi Jin¹, Guangwei Cui², 竹内直志³, 宮内栄治³, 北條 望¹, 大野博司^{3,4}, 生田宏一², 城口克之¹
¹ 理化学研究所生命機能科学研究センター,
² 京都大学ウイルス・再生医科学研究所免疫制御分野,
³ 理化学研究所生命医科学研究センター, ⁴ 横浜市立大学大学院生命医科学研究科
- 10:24～10:36 **B-3. 食餌由来タンパク質は腸内細菌を介して *Clostridioides difficile* 感染病態に影響を与える**
 Diet-derived protein influences *Clostridioides difficile* infection through gut microbiota
 ○矢加部恭輔^{1,2}, 東誠一郎³, 秋山雅博¹, 福田真嗣⁴, 長谷耕二², 金 倫基¹
¹ 慶應義塾大学薬学部創薬研究センター, ² 慶應義塾大学薬学部生化学講座,
³ 明治ホールディングス株式会社, ⁴ 慶應義塾大学先端生命科学研究所
- 10:36～10:48 **B-4. 腸内で酪酸を放出する分子組織化薬 (Nano^{BA}) の設計と非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) に対する効果**
 Design of a molecular self-assembling drug (Nano^{BA}) that releases butyric acid in the intestine and its effect on non-alcoholic steatohepatitis (NASH)
 田鹿裕也¹, Babita Shashni¹, 西川祐司², ○長崎幸夫^{1,3,4}
¹ 筑波大学数理物質科学研究科, ² 旭川医科大学病理学,
³ 筑波大学数人間総合科学研究科, ⁴ 筑波大学アイソトープ環境動態研究センター
- 10:48～11:00 **B-5. 腸内酸化ストレスを除去する抗酸化ナノ粒子 —うつ病治療の新しいアプローチ—**
 Design of antioxidative nanoparticle scavenging intestinal ROS
 — A novel strategy for the depression treatment —
 ○池田 豊¹, 齋江直輝¹, 長崎幸夫^{1,2}
¹ 筑波大学大学院数理物質科学研究科, ² 筑波大学フロンティア医科学
- 11:00～11:12 **B-6. *Bifidobacterium adolescentis* は腸内ででんぷん顆粒に集住し同基質の摂取に対する菌叢反応の個人差を規定する**
Bifidobacterium adolescentis colonizes on intestinal starch granules and determines the individual variation in the response of microbiota to the substrate
 ○長柄雄介¹, 藤井大地², 高田敏彦¹, 山崎美紀子³, 小谷 徹², 大石憲司¹
¹ ヤクルト中央研究所 基盤研究所, ² ヤクルト中央研究所 微生物研究所,
³ ヤクルト中央研究所 食品研究所

座長 加藤公敏（日本大学），中村公則（北海道大学）

- 11:12 ~ 11:24 **B-7. 乳幼児期の腸内有機酸の遷移過程の解明と酪酸産生に寄与する菌群の推定**
 Early-life gut ecosystem development and bacterial taxa contributing gut butyrate production
 ○佃 直紀¹, 矢矧加奈¹, 原 妙子¹, 渡邊洋平¹, 松本星隆¹, 森 宙史², 東 光一², 辻 浩和¹, 松本 敏¹, 黒川 顕², 松木隆広¹
¹ヤクルト本社中央研究所, ²国立遺伝学研究所情報研究系
- 11:24 ~ 11:36 **B-8. 乳幼児期の腸内ギ酸・乳酸濃度に関するビフィズス菌の代謝経路の同定**
 Identification of bifidobacterial metabolic pathways affecting gut formate and lactate concentrations in early life
 ○矢矧加奈¹, 佃 直紀¹, 原 妙子¹, 渡邊洋平¹, 松本星隆¹, 森 宙史², 東 光一², 辻 浩和¹, 松本 敏¹, 黒川 顕², 松木隆広¹
¹ヤクルト本社中央研究所, ²国立遺伝学研究所情報研究系
- 11:36 ~ 11:48 **B-9. 日本人アスリート 720 人の腸内細菌叢解析結果**
 Microbiome analysis of 720 Japanese athletes
 ○富士川凜太郎, 森 達則, 鈴木啓太
 AuB 株式会社
- 11:48 ~ 12:00 **B-10. クロレラ摂取が健常人の腸内環境の変動に及ぼす影響の予備的調査**
 Effects of *Chlorella* supplemented on intestinal environment in healthy adults: a preliminary study
 ○氷室沙弥香¹, 野口直人¹, 中村 浩², 草野輝彦², 菅野敏博¹, 山田 亮³
¹クロレラ工業株式会社 R/D 部, ²瑞輝科学生物株式会社
³久留米大先端癌治療研究センター
- 12:00 ~ 12:12 **B-11. 高齢慢性便秘症患者における臨床症状と腸内細菌構成の関係ならびに *Bifidobacterium longum* BB536 投与による治療効果の検討**
 Investigation of relationship between clinical symptoms and gut microbiota composition in older patients with chronic constipation and the therapeutic effect of *Bifidobacterium longum* BB536
 ○竹田 努¹, 浅岡大介², 長田太郎³, 野尻宗子⁴, 柳澤尚武⁴, 西崎祐史⁴, 小井戸薫雄⁵, 永原章仁¹, 勝又紀子^{6,7}, 小田巻俊孝^{6,7}, 清水金忠^{6,7}, 大草敏史^{5,6}, 佐藤信紘⁶
¹順天堂大学 消化器内科, ²順天堂東京江東高齢者医療センター 消化器内科,
³順天堂大学医学部附属浦安病院 消化器内科,
⁴順天堂大学 革新的医療技術開発研究センター,
⁵東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科, ⁶順天堂大学大学院腸内フローラ研究講座,
⁷森永乳業株式会社 研究本部 基礎研究所
- 12:12 ~ 12:24 **B-12. 高齢者の腸内細菌叢の経年変化および乳酸菌摂取が腸内細菌叢の経年変化に与える影響**
 Yearly changes in the composition of gut microbiota in the elderly, and the effect of lactobacilli intake on these changes
 ○天本隆太¹, 島本一史¹, 諏訪貴士¹, 牧野 博¹, 松本星隆¹, 清水健介¹, 甲藤美幸¹, 松原智史¹, 青柳幸利²
¹ヤクルト本社中央研究所,
²東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健チーム

12 : 24 ~ 13 : 30 休憩

13 : 30 ~ 14 : 30 海外特別講演

座長 岡田信彦 (北里大学)

“The Microbiome and Gut Homeostasis”

Andreas J. Baumler

Professor and Vice Chair of Research, Department of Medical Microbiology and Immunology, University of California Davis

14 : 30 ~ 15 : 20 特別講演

座長 大草敏史 (順天堂大学)

「Dysbiosis 関連疾患の新規治療法の開発」

Development of novel therapies for dysbiosis-related diseases

植松 智^{1,2}

¹大阪公立大学大学院医学研究科ゲノム免疫学 教授,

²東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターメタゲノム医学分野 特任教授

15 : 20 ~ 15 : 40 休憩

15 : 40 ~ 15 : 50 腸内細菌学会研究奨励賞授賞式

座長 神谷 茂 (研究奨励賞選考委員長)

15 : 50 ~ 16 : 10 受賞講演 1 (基礎部門)

「腸内バクテリオファージによる共生細菌と関連疾患の制御」

Regulation of intestinal bacteria-mediated diseases by bacteriophages

藤本康介^{1,2}

¹大阪公立大学大学院医学研究科 ゲノム免疫学,

²東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター メタゲノム医学分野

16 : 10 ~ 16 : 30 受賞講演 2 (臨床・応用部門)

「乳酸菌の慢性炎症抑制作用および糖・脂質代謝改善作用に関する研究」

The study on the effect of lactic acid bacteria for suppressing chronic inflammation and improving glucose and lipid metabolism

利光孝之

株式会社 明治 研究本部 乳酸菌研究所

16 : 45 ~ 17 : 45 一般演題 A ポスター発表 (会場：1F 展示ホール)

18 : 00 ~ 19 : 30 情報交換会 (会場：2F 福寿・桃源)

※諸般の事情により、情報交換会を中止する場合もあり得ますことをご了解ください。

7月7日(木)

13:30～15:30 市民公開講座『くずりと腸内細菌』(会場:小ホール)

司会 長谷耕二(慶應義塾大学)

1. 炎症性腸疾患の最新知見～くずり・食事・腸内細菌～

小林 拓

北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター

2. 腸内細菌とがん免疫療法－食物繊維発酵腸内細菌が治療効果を決める？－

角田卓也

昭和大学医学部内科学講座腫瘍内科部門,

昭和大学病院腫瘍センター

※学術集会事前参加登録とは別の申し込みが必要となります。

2日目 7月8日(金)

総合司会:小田巻俊孝(森永乳業(株))

大ホール 一般演題 B 13～16 (9:30～10:18):各12分(口演10分,質疑2分)

座長 高橋恭子(日本大学), 辻 典子(十文字学園女子大学)

9:30～9:42 B-13. 精神疾患患者に対するプロバイオティクスの介入によるうつ症状の変化と腸内細菌叢との関係

Improvement in depressive symptoms after probiotic treatment associates with gut microbiota composition in patients with psychiatric disorder

○石川絃司¹, 大高茉莉², 早川弘子¹, 小倉 淳², 蓬田幸人², 太田深秀², 秀瀬真輔², 石田一希², 相田正典¹, 松田一乗¹, 河合光久¹, 吉田寿美子³, 功刀 浩^{2,4}¹ヤクルト本社中央研究所,²国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第三部,³国立精神・神経医療研究センター 臨床検査部,⁴帝京大学医学部 精神神経科学講座9:42～9:54 B-14. *Bifidobacterium breve* MCC1274 摂取による軽度認知障害(MCI)患者に対する認知機能改善作用の検討 第1報～認知機能並びに画像解析結果について～*Bifidobacterium breve* MCC1274 improves cognitive function in patients with mild cognitive impairment (MCI) Part 1: Results of cognitive function and imaging analysis○浅岡大介¹, 清水金忠^{2,3}, 竹田 努⁴, 小井戸薫雄⁵, 大野和也², 勝又紀子^{2,3}, 永原章仁⁴, 大草敏史^{3,5}, 佐藤信紘³¹順天堂大学東京江東高齢者医療センター消化器内科, ²森永乳業株式会社基礎研究所,³順天堂大学大学院腸内フローラ研究講座, ⁴順天堂大学消化器内科,⁵東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科9:54～10:06 B-15. *Bifidobacterium breve* MCC1274 摂取による軽度認知障害(MCI)患者に対する認知機能改善作用の検討 第2報～菌叢解析結果について～*Bifidobacterium breve* MCC1274 improves cognitive function in patients with mild cognitive impairment (MCI) Part 2: Results of gut microbiota analysis

○大野和也¹, 浅岡大介², 竹田 努³, 小井戸薫雄⁴, 勝又紀子^{1,5}, 小田巻俊孝^{1,5},
清水金忠^{1,5}, 大草敏史^{4,5}, 佐藤信紘⁵

¹ 森永乳業株式会社 基礎研究所, ² 順天堂東京江東高齢者医療センター消化器内科,

³ 順天堂大学消化器内科, ⁴ 東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科,

⁵ 順天堂大学大学院腸内フローラ研究講座

10:06 ~ 10:18 **B-16. アルツハイマー型認知症の行動・心理症状 における腸内細菌叢の変容と神経活性ポテンシャル (腸内細菌-腸-脳相関)**

Dysbiosis and neuroactive potential of the gut microbiota in behavioral and psychological symptoms of dementia in Alzheimer's disease (microbiota-gut-brain interaction)

若杉茂俊

介護老人保健施設 リハビリパーク城山

10:20 ~ 12:50 シンポジウム1「マイクロバイオームの生理機能」

座長 大谷直子 (大阪公立大学), 木村郁夫 (京都大学)

10:20 ~ 10:50 1. 腸内マイクロバイオーム由来ポリアミンの生理機能

Functions of polyamines produced by intestinal microbiome

松本光晴

協同乳業株式会社研究所技術開発グループ

10:50 ~ 11:20 2. マイクロバイオームの代謝機能を介した食品成分の潜在生理機能発現

Expression of potential physiological functions of food components via metabolic functions of microbiome

○小川 順, 岸野重信

京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻

11:20 ~ 11:50 3. 長寿に関する腸内細菌の探索

Identification of centenarian gut microbes associated with longevity and healthy aging

○新 幸二¹, 佐藤優子¹, 新井康通², 広瀬信義², 本田賢也¹

¹ 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

² 慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター

11:50 ~ 12:20 4. アミノ酸のキラリティによる免疫調節機構

Amino acid chirality modulates immune responses to bacteria

笹部潤平

慶應義塾大学医学部薬理学

12:20 ~ 12:50 5. オルガノイドが紐解く消化管の複雑性

Organoid elucidates the complexities of the mucosal ecosystem

佐々木伸雄

群馬大学生体調節研究所・粘膜エコシステム制御分野

12:50 ~ 13:50 休憩

13:50～16:20 シンポジウム2「マイクロバイオームの制御と健康」
日本医療研究開発機構 (AMED) 共催

座長 大野博司 (理化学研究所), 松木隆広 (ヤクルト本社中央研究所)

- 13:50～14:20 1. マイクロバイオームモジュレーターによる疾患制御
Disease prevention by gut microbiome modulators
金 倫基
慶應義塾大学薬学部 創薬研究センター
- 14:20～14:50 2. リコンビナント IgA 抗体による **dysbiosis** の治療
Ingestible recombinant IgA antibodies restoring microbiome balance
新藏礼子
東京大学定量生命科学研究所 免疫・感染制御研究分野
- 14:50～15:20 3. 腸内細菌叢と肥満関連肝がん ～ **Leaky gut** による腸内細菌関連物質の肝移行の関与～
Gut microbiota and obesity-associated liver cancer by hepatic translocation of gut microbial factors via leaky gut
大谷直子
大阪公立大学大学院医学研究科 病態生理学
- 15:20～15:50 4. パーキンソン病の腸管神経叢起源説と腸内細菌叢の関与
Intestinal origin of Parkinson's disease and its relevance to intestinal microbiota
大野欽司
名古屋大学大学院医学系研究科・神経遺伝情報学
- 15:50～16:20 5. 腸内細菌叢移植の現状と展開
The present status and future prospects of fecal microbiota transplantation
○石川 大¹⁻³, 永原章仁¹⁻³
¹順天堂大学消化器内科, ²順天堂大学腸内細菌療法研究講座,
³順天堂大学細菌叢再生学講座
- 16:20～16:30 閉会の辞 長谷耕二 (慶應義塾大学)

利益相反 (COI) について

当財団では論文投稿, 学会発表において利益相反 (COI) についての開示を必要とすることとなりました。恐縮ながらご発表に際し, 「利益相反 (COI)」について必要であればご提示をお願い致します。

当財団の「利益相反 (COI)」開示方法については,
「公益財団法人腸内細菌学会ホームページ」→「当財団について」→「利益相反 (COI) について」をご参照ください (https://bifidus-fund.jp/aboutcenter/pdf/about_coi.pdf)。